

様式 3

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市社会福祉審議会 民生委員審査専門分科会				
事務局 (担当課)		健康福祉局福祉部地域福祉課 内線(2772)				
開催日時		平成31年4月23日(火) 午後3時10分～3時30分				
開催場所		けやき会館4階第2中会議室				
出席者	委員	6名 (原委員、戸塚委員、大久保委員、永井委員、名取委員、相澤委員)				
	その他	0名				
	事務局	4名(網本部長、遠藤課長、中山総括副主幹、平井)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 専門分科会長の選出について (2) 職務代理者の指名について (3) 民生委員審査専門分科会の審査内容について (4) 民生委員・児童委員の一斉改選について 3 その他 4 閉会				

審 議 経 過

(1 / 1)

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)
(1) 専門分科会長の選出について 互選により戸塚委員が専門分科会長に選出され、戸塚会長のあいさつの後、会長によって議事が進行された。
(2) 職務代理者の指名について 戸塚専門分科会長から大久保委員が職務代理者として指名された。
(3) 民生委員審査専門分科会の審査内容について 事務局から、資料 1 ~ 3 に基づき説明した。
(4) 民生委員・児童委員の一斉改選について 事務局より、資料 4 に基づき説明した。次のようなやり取りがあった。 ：相模台地区では一斉改選に伴い、58名中22名が継続しない意向を示し、うち定年を理由としている方が10名いる。地域住民及び民生委員・児童委員の高齢化に伴い、後任を見つけるのに苦慮している。 ：事務局に考えはあるか。 ：定年の引上げ等の影響もあり、後任の選定は課題だと感じている。 負担軽減や協力員制度の啓発などを行っているところである。 年齢要件を緩和する案もあるが、課題も多い。 ：協力員制度について、1名につき複数名が担当できるようにする等、制度の改正が可能であれば負担を軽減できるように思う。 ：推薦協力会は22地区全てで設置されているのか。構成員は自治会長が主か。 ：推薦協力会は22地区全てで設置されている。構成員は地域によって特徴があるが、いずれにせよ自治会関係者が多い。自治会から民生委員・児童委員を選出するような関係となってしまっている。 ：それにもかかわらず、自治会加入率も下がっているため、やはり選任は難航している。
(5) その他 特に意見は出なかった。
以上をもって閉会とした。

社会福祉審議会 民生委員専門分科会委員名簿

(平成31年4月23日)

番号	氏名	役職又は推薦団体	出欠席
1	羽生田 学	相模原市議会議員	欠席
2	原 裕子	相模原市 民生委員児童委員協議会	出席
3	戸塚 英明	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会	出席
4	大久保 祐次	一般社団法人相模原市 高齢者福祉施設協議会	出席
5	永井 博	相模原市教育委員会	出席
6	名取 孝浩	神奈川県弁護士会	出席
7	相澤 由美	相模原市 人権擁護委員協議会	出席